

- 問1 新潟県などではこの地形の断面を直接観察できる施設があり、観光や学習の拠点となっています。この「大地溝帯」とも呼ばれる地形的特徴について述べた文として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。（2022年 栃木県公立入試 類似）
1. 新潟県から静岡県にかけて広がる、日本列島を東西に分ける大きな溝である。
 2. 大阪府に位置する、高度経済成長期に開発された大規模な住宅団地である。
 3. 鹿児島県に位置する、現在も活活な火山活動を続けている活火山である。
 4. 北海道を中心に独自の世界観や言語を育んできた先住民族の文化である。
- 問2 1951年から2017年までの統計資料によると、日本で最も台風の上陸数が多い都道府県は鹿児島県の41回ですが、それに次いで2番目に多い26回の上陸が記録されている県はどこですか。（2018年 岡山県公立入試 類似）
1. 高知県
 2. 和歌山県
 3. 長崎県
 4. 宮崎県
- 問3 日本の諸地域の気候について述べた次の文のうち、年間降水量が1000mmを下回り、かつ冬の平均気温が氷点下になるなど寒さが厳しく、内陸部に位置する地域に見られる気候区分はどれですか。（2016年 長野県公立入試 類似）
1. 中央高地の気候
 2. 日本海側の気候
 3. 瀬戸内の気候
 4. 太平洋側の気候
- 問4 埼玉県川越市の中心部のような、江戸時代の城下町の構造を今に伝える地域を調査する際、軍事的な防衛機能を高めるために取り入れられた工夫として適切な説明を選びなさい。（2021年 東京都公立入試 類似）
1. 城に近い場所には「郭町」、正門入り口付近には「大手町」といった名称を配置して身分による居住区分け、さらに「鍵型の道路」によって城への直進を阻む構造にした。
 2. 「新田」や「開墾」といった地名を城の周囲に配置して食料自給率を高め、外敵の侵入に備えて道路の幅を広く確保し、多くの公園を設けた。
 3. 「市」のつく地名を配置して商業を活性化させるとともに、見通しを良くするためにすべての道路を直線的に交差させ、中央に高い塔を配置して監視を強めた。
 4. 「番所」や「関」といった名称を街の中心部に集め、有事の際にすぐに情報が伝わるよう、地形図上で「高塔」の記号で示される連絡施設を等間隔に配置した。
- 問5 三重県を流れる雲出川の河口付近に見られる、土砂が堆積してできた平坦な地形について、その成り立ちや特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2021年 徳島県公立入試 類似）
1. 河口付近で川の流れが弱まり、運ばれてきた微細な砂や泥が海面に堆積して平坦な土地が形成された。
 2. 火山の噴火によって噴出された火山灰などが厚く降り積もり、水はけの良い広大な平地が形成された。
 3. 山地から平地に流れ出た場所で流れが急に緩やかになり、砂礫が扇状に積み重なって形成された。
 4. かつて海底や河床だった場所が隆起し、その後、周囲が削られることで一段高くなった平坦な地形。
- 問6 千葉県習志野市にある谷津干潟のような自然環境の保全や、都市環境の改善は、ヒートアイランド現象を緩和する効果があります。この現象への対策として、日本の各自治体で進められている取り組みはどれですか。（2023年 千葉県公立入試 類似）
1. 排気ガスに含まれる硫酸酸化物を除去する装置の設置を工場に義務付ける
 2. フロンガスの排出を規制し、オゾン層の破壊を防ぐことで直射日光を遮る
 3. ビルの屋上や壁面の緑化を推進し、植物の蒸散作用によって気温の上昇を抑える
 4. 海岸沿いの干潟を埋め立てて工業団地を造成し、海風が通り抜けやすくする
- 問7 河川の下流に位置し、標高が50m以下で複数の川に挟まれた低湿地において、水害対策としてとられた「輪中」の構造と仕組みに関する記述として、最も適切なものはどれですか。（2021年 大分県公立入試 類似）
1. 集落や田畑の周囲を隙間なく堤防で囲み、外部からの浸水を防ぐ構造である。
 2. 海岸沿いに巨大な防潮堤を建設し、地震による津波を遮断する構造である。
 3. 上流の森林に多数の砂防ダムを設置し、土砂の流出を抑える仕組みである。
 4. 森林を大規模に伐採して平地を造成し、雨水を素早く海へ流す仕組みである。
- 問8 太平洋を囲むように分布し、日本列島もその一部に含まれる造山帯の特徴として、最も適切な説明はどれですか。複数のプレートが重なり合う境界付近に位置していることを考慮して選んでください。（2022年 岐阜県公立入試 類似）
1. 安定陸塊と呼ばれ、地殻が非常に安定しているため、大規模な地震や火山活動はほとんど見られない。
 2. 古期造山帯に分類され、長期間の侵食を受けたことによって、なだらかな山地や高原が広がっている。
 3. 新期造山帯に分類され、地殻変動が活発なため、険しい山脈や火山が多く地震も頻繁に発生する。
 4. アルプス・ヒマラヤ造山帯に含まれ、ヨーロッパからアジアを横断して日本まで続いている。
- 問9 静岡県の牧之原周辺のような、茶畑が広がる台地状の地形が描かれた2万5千分の1の地形図を想定します。標高160メートルの地点から、より高い場所にある標高210メートルの地点まで移動した場合、その「標高差」と、移動の間にまたぐ「計曲線（太い実線）」の本数の組み合わせとして正しいものを選んでください。（2024年 鳥取県公立入試 類似）
1. 標高差110メートル、計曲線2本
 2. 標高差50メートル、計曲線2本
 3. 標高差110メートル、計曲線1本
 4. 標高差50メートル、計曲線1本
- 問10 ある地域の降水量について、各月の統計を確認すると100mmから200mm程度で推移しており、他の地域と比較してグラフの数値が全体的に低くなっています。大阪や京都などの地域に見られる、この気候区分の名称を答えなさい。（2018年 熊本県公立入試 類似）
1. 中央高地の気候
 2. 日本海側の気候
 3. 太平洋側の気候
 4. 瀬戸内の気候
- 問11 災害への備えとして重要な役割を果たす「ハザードマップ」の説明として、正しいものはどれか。（2018年 佐賀県公立入試 類似）
1. 災害が発生した後に、被災した建物の修繕費用や道路の復旧計画を住民に知らせるためのもの。
 2. 自然災害による被害が予想される区域や避難場所、避難経路などの情報を地図上に示したもの。
 3. 新しい堤防やダムを建設するために、立ち退きが必要となる地域の範囲を住民に伝えるためのもの
 4. 地域にある商業施設や商店街の場所を詳しく記し、災害時に食料品を安く購入できる場所を示したもの。
- 問12 新潟県の上越市や福井県、京都府の舞鶴市などの統計に見られる、日本海側の気候に共通する特徴的なデータ傾向はどれですか。（2023年 島根県公立入試 類似）
1. 1月の平均気温が氷点下10度を下回り、年間を通じて降水量の変化がほとんど見られない。
 2. 夏の期間に降水量が集中し、冬の月別降水量は50mmを下回るほど乾燥した状態が続く。
 3. 年間の降水量が1000mm以下と非常に少なく、1月でも平均気温が15度を超えるほど温暖である。
 4. 12月から2月にかけての月別降水量が、6月から8月の月別降水量と同等か、それ以上に多くなる。
- 問13 日本列島の太平洋側を南から北東に向かって流れる海流について、その特徴と周辺環境への影響を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 群馬県公立入試 類似）
1. 対馬海峡から日本海へと流れ込む暖流であり、冬に水分を供給して日本海側に大雪をもたらす要因となっている。
 2. 低緯度から流れてくる暖流であり、屋久島周辺などの海域においてサンゴ礁の発達を促す要因となっている。
 3. 千島列島から南下する寒流であり、夏に「やませ」と呼ばれる冷たい風の影響を受ける要因となっている。
 4. 北の海域から南下してくる寒流であり、プランクトンが豊富なため世界的な漁場を形成する要因となっている。